

やんばるの鳥

山地・森林、平地、水辺の111種



はじめに

沖縄県は、日本最南端の波照間島、最西端の与那国島を含む約160の島々からなり、その最大の島が沖縄島です。沖縄島の北部地域は“やんばる”と呼ばれ、標高503mの与那覇岳をはじめとする山々が連なり、イタジイを中心とする亜熱帯の常緑広葉樹林に覆われています。

沖縄県では実に多様な鳥類が観察されます。陸地面積は日本全体のわずか0.6%ながら、約500種の鳥類が記録されており、これは日本全体で記録されている種の約8割にあたります。ただし、その多くは迷鳥や渡り鳥です。特に多くの迷鳥が観察されますが、沖縄県が中国大陸や東南アジアに近いことがその理由のひとつです。

種数が多いだけではありません。特にやんばるは、この地域にしか生息していない固有種を含め、貴重な鳥類が観察されます。やんばるには日本固有の鳥類11種のうちの4種にあたるヤンバルクイナ、ノグチゲラ、アカヒゲ、アマミヤマシギが生息しており、これら4種にカラスバトを加えた5種が国や県の天然記念物に指定されています。また、メジロやウグイス、ユグレなど、全国的によく見られる種も、沖縄周辺地域では地域固有の亜種とされている場合が多く、こうした固有性の高さも特徴のひとつになっています。

ここでは、やんばるで見られる鳥たちの中から、111種をご紹介します。



*沖縄周辺地域に固有の亜種は亜種名で示す。



ヤンバルクイナ

Okinawa Rail

沖縄島北部の平地から山地の森林地域などに生息する固有種で、1981年に新種として記載された。日本で唯一の飛べない鳥。日中はうす暗い森内や谷間沿いを歩きまわり、枯れ葉の下や土の中にいるミズやカエルなどを捕らえてエサにしている。カタツムリ類の固い殻を削って食べることもある。「キヨッキヨッキヨッキヨッ」と大きな声で鳴く。夜間にには、傾斜の緩やかな木などにのぼり樹上でねぐらをとる。方言名はアガチ。



オオドリ

Mandarin Duck

沖縄島北部で繁殖。森林でドングリやカタツムリなどをエサにしている。一部は冬鳥。写真は雄。



カラスバト

Japanese Wood Pigeon

森林地域に生息するハトの仲間で、全身黒色。繁殖期には「ウ、ウー」と牛のような鳴き声で鳴く。



ズアカオバト

Whistling Green Pigeon

全身緑色のハトで、森林地域に生息。繁殖期には「ホーアーオー、オーバー」と連続して鳴く。



リュウキュウキジバト

Oriental Turtle Dove (Okinawa Sub.)

山地森林から農耕地や住宅地、公園まで広く生息するハト類。周年繁殖する。



シロハラクイナ

White-breasted Waterhen

水田や田代モ栽培地、湿地などに生息する。最近、九州や四国でも生息が確認されている。雄は首から胸に黒褐色斑がある。写真は雌。



シマキンバラ(アミバラ)

Scaly-breasted Munia

農耕地や水田周辺でみられる。群れをつくり、イネ科の植物種子をエサにしている。外来種。



ギンバラ

Tricolored Munia

夏に、農耕地やまばらな草原などに渡来し繁殖する。キリリと鳴く。



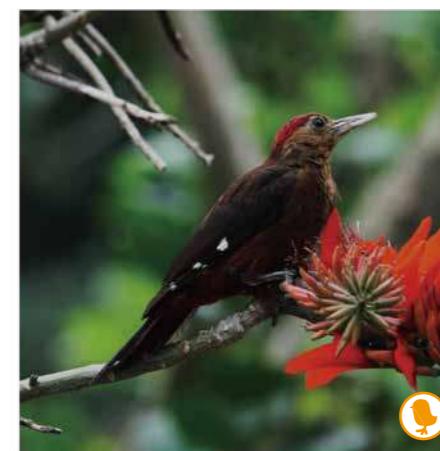
ツバメチドリ

Indian Pratincole

夏に、農耕地やまばらな草原などに渡来し繁殖する。

Okinawa Woodpecker

沖縄島北部のよく茂ったイタジイ林に生息する一属一種のキツツキ類。最近の研究ではアカゲラ属の1種とする見解もある。森林から離れることは少なく、暗い林内で枯れ木につくさきりんごの幼虫などをエサにする。他にクモ類や昆虫類、節足動物などを食べ、時には木の実を利用する。4月から6月頃の繁殖期には、イタジイやオキナワウラジロガシなどの枯死木や半枯死木などに横穴を掘って営巣する。幼鳥と雄は頭頂が赤く、雌は黒褐色。方言名はキータタチャ。写真は雄。



ホントウアカヒゲ*

Ryukyu Robin (Okinawa Sub.)

沖縄島北部の森林地域に生息するアカヒゲの1亜種。4月から6月頃の繁殖期には、特有の声量のある澄んだ声でヒビリルルルやチヨリチュリと鳴く。低い木の樹洞(5m)やヒカゲヘゴの枯死木などを使って巣づくりを行い、3~5個の卵を産む。種アカヒゲは男女群衆やトカラ列島、奄美諸島、沖縄諸島などの森林地域に生息する日本の固有種。沖縄より北で繁殖するアカヒゲの一部は沖縄で越冬する。方言名はアコー。写真は雄。



リュウキュウコノハズク

Ryukyu Scops Owl

山地森林に生息するフクロウ類で、「コホー、コホー」と連続して鳴く。樹洞を使って繁殖する。



リュウキュウアオバズク*

Brown Hawk-Owl (Okinawa Sub.)

山地森林に生息するフクロウ類で、「ホウホウ、ホウホウ」と連続して鳴く。耳羽がなく、顔は丸い。



リュウキュウコガラ*

Japanese Pygmy Woodpecker (Okinawa Sub.)

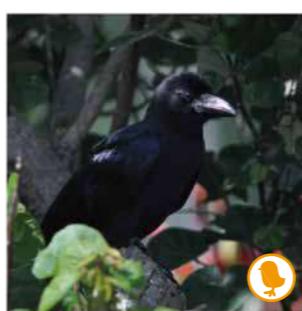
山地森林から市街地の緑地公園まで生息。枯れ木につく昆虫の幼虫を食べる。



リュウキュウサンショウクイ*

Ashy Minivet (Okinawa Sub.)

山地森林から市街地まで広く生息する。最近、生息分布を本州南部まで広げている。



リュウキュウハシブトガラス*

Large-billed Crow (Okinawa Sub.)

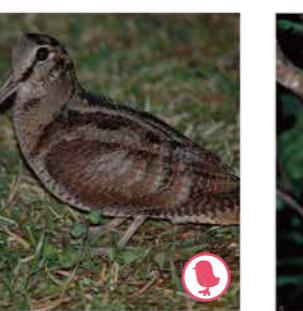
森林から市街地まで広く生息する。雑食性でバインなどの農作物を食害することもある。



アマミヤマガラ*

Varied Tit (Okinawa Sub.)

山地森林部に生息し、「ツツー、ツツー」とさえずる。木の実や昆虫類をエサにしている。



ヤマシギ

Eurasian Woodcock

冬に山地近くの草原や農耕地にぐらばしを差し込みミミズなどを捕獲する。



アカハラダカ

Chinese Sparrowhawk

9月頃に森林部から群れで渡来。山地森林部で一夜を過ごし、南下していく旅鳥。写真は雌。



キマユミシキ

Yellow-browed Warbler

秋から森林地域に渡来し、越冬するムシクイ類。翼に黄白色または白色の帶がある。



オキナワチフサ*

Japanese Tit (Okinawa Sub.)

山地森林から市街地の公園まで生息する。「ツビー、ツビー」とさえずる。木の実を食害することもある。



ダイワウグイス*

Japanese Bush Warbler (Okinawa Sub.)

沖縄島の山地から低地の森林地域、農耕地周辺などに生息する。「ツビー、ツビー」とさえずる。昆虫類をエサにしている。



リュウキュウスイ*

Japanese White-eye (Okinawa Sub.)

山地森林から住宅地まで広く生息する。繁殖期には木立に巣穴を開いて、繁殖する。



ノゴマ

Siberian Rubythroat

山地から低地の森林や農耕地周辺などに渡来し、越冬。茂みで鳴いていることが多い。写真は雄。



ルリビタキ

Red-flanked Bluetail

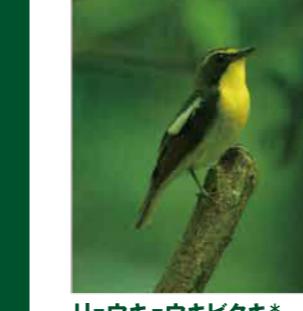
冬に山地から低地の森林、農耕地周辺などで見られる。山地周辺などによくみられる。



エゾビタキ

Grey-spotted Flycatcher

秋に県内各地を通過していく旅鳥。山地から平地の林縁、農耕地、畜舎周辺などによくみられる。



リュウキュウウキビタキ*

Narcissus Flycatcher (Okinawa Sub.)

キビタキの南西諸島固有亜種。山地森林地域に生息。樹洞を使って繁殖する。写真は雄。



リュウキュウサンコウチョウ*

Japanese Paradise Flycatcher (Okinawa Sub.)

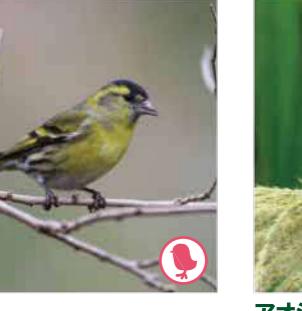
夏に山地森林で渡来する。木立の二叉などにコップ型の巣をつくり繁殖する。写真は雄。



アトリ

Brambling

冬に山地から低地の森林部、市街地の緑地公園などに渡来し、越冬。地上や木立で昆虫類を捕獲。写真は雄。



マヒワ

Eurasian Siskin

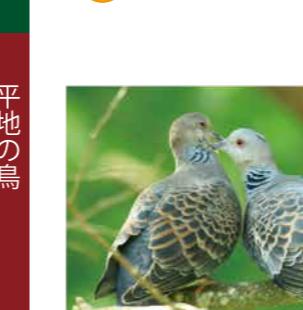
県内各地に群れで渡来し、山地森林部の木立や農耕地、公園などでみられる。写真は雄。



アオジ

Black-faced Bunting

冬に山地から低地の森林部、農耕地周辺などで越冬するホオジロ類。比較的の数が多い。写真は雄。



アマサギ

Cattle Egret

農耕地や牧草地、水田などに群れで渡来し越冬する。繁殖期は色が濃く、腹部亜種にされている。





ハヤブサ

Peregrine Falcon

冬に農耕地や水田など開けた場所に渡来し越冬する。小鳥類を捕獲してエサとする。



アカモズ

Brown Shrike

冬に農耕地や牧草地など開けた場所に渡来し越冬する。バッタ類など昆虫類をエサにしている。



ツバメ

Barn Swallow

春と秋に通過する旅鳥。一部越冬。尾羽が細長い。最近、沖縄島北部で繁殖例があった。



カイソブリ

Little Gull

ダム湖や河川、池など水辺でみられる。よく水中にもぐり、小魚や水生昆虫などをエサにしている。



リュウキュウヨシゴイ

Cinnamon Bittern

河川や湿地、田伊モ栽培地などに生息している。アジア南部に広く分佈する。写真は雄。



ゴイサギ

Black-crowned Night Heron

河川や湿地、田伊モ栽培地などに生息。繁殖期には河川沿いで集団繁殖地をつくる。一部冬鳥。



タケリ

Northern Lapwing

冬に水田や田伊モ栽培地などに少數が渡来し、越冬する。頭頂の長く伸びる冠羽が特徴的。



ムナグロ

Pacific Golden Plover

秋から冬に干潟や湿地、海岸などに小さな群れで渡来し、通過する。一部は越冬。写真は冬羽。



ダイゼン

Grey Plover

干潟や海岸線などに小さな群れで渡来し、越冬する。ムナグロより大きい。写真は冬羽。



アカアシギ

Common Redshank

秋から冬に河川や水田、田伊モ栽培地などに渡来し、越冬する。足は緑色。



アオアシギ

Common Greenshank

秋から冬に河川や水田、田伊モ栽培地などに渡来し、越冬する。足は緑色。



クサシギ

Green Sandpiper

秋に河川や水田、田伊モ栽培地などに渡来し、越冬する。



トラソグミ

Scaly Thrush

冬に林縁や農耕地周辺などにごく少数が渡来し越冬する。枯れ葉下のミズなどをエサにしている。



シロハラ

Pale Thrush

冬に森林地域や林縁、農耕地周辺などに数多く渡来し越冬。エサは枯れ葉下のミズなどをエサにしている。



アカハラ

Brown-headed Thrush

冬に林縁や農耕地周辺などに少數が渡来し越冬する。枯れ葉下のミズなどをエサにしている。



クロサギ

Pacific Reef Heron

海岸線でみられ、黒色型と白色型がある。写真は黒色型。他のサギ類に比べ、足が短い。



リュウキュウヒクイナ*

(Okinawa Sub.)

河川や湿地、田伊モ栽培地などで生息。顔から腹部が赤褐色。キヨ、キヨ、キヨと一聲ずつ鳴。



パン

Common Moorhen

河川や湿地、田伊モ栽培地などで生息。全身黒褐色で脇に細い白線がある。



コチドリ

Little Ringed Plover

秋から冬に干潟や海岸線などに渡来し、越冬する。目わきの黄色のリングが特徴的。写真は冬羽。



メダチドリ

Mongolian Plover

秋から冬に干潟や海岸線などに渡来し、越冬する。一部は越冬。写真は冬羽。



セイタカシギ

Black-winged Stilt

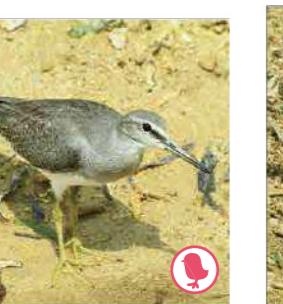
秋から冬に干潟や海岸線などに渡来し、越冬する。一部は越冬。写真は冬羽。



タカシギ

Wood Sandpiper

秋の早い時期に河川や水田、田伊モ栽培地などで数多く渡来し、越冬する。足は黄色。



キアシギ

Grey-tailed Tattler

秋に河川や干潟などに渡来し、通過していくが、その一部は越冬する。足は黄色。



ソリハシシギ

Terek Sandpiper

秋に河川や干潟、海岸などに渡来し、通過していくが、その一部は越冬する。足(あしゆび)は3本。



ツグミ

Naumann's Thrush

冬に丈の低い草原や農耕地周辺などに渡来し越冬する。エサは枯れ葉下のミズなどをエサにしている。



ジョウビタキ

Daurian Redstart

冬に草原や農耕地周辺など開けた場所に渡来し越冬する。昆虫類などを捕獲する。写真は雄。



ノビタキ

African Stonechat

冬に草原や農耕地周辺などに渡来し越冬する。昆虫類などを捕獲する。写真は雄。



シロチドリ

Kentish Plover

海岸線や埋め立て地でみられるチドリ類。砂浜海岸などで繁殖している。一部冬鳥。



タマシギ

Greater Painted Snipe

水田や田伊モ栽培地、湿地などに生息する。泡卵や子育てでは雄の役割。写真は雌。



カワセミ

Common Kingfisher

河川や池、沼地など水辺に生息する。背が鮮やかなブルー。小魚類や甲殻類をエサにしている。

冬鳥・旅鳥(冬にくる鳥・渡りの途中に訪れる鳥)

*沖縄周辺地域に固有の亜種は亜種名で示す。



コアジサシ

Little Tern

埋め立て地や海岸などに渡来し、集団繁殖地を形成して繁殖する。小魚類を捕獲する。



ベニアジサシ

Roseate Tern

岩礁や無人島などに渡来し、集団繁殖地を形成して繁殖する。小魚類を捕獲する。



エリグロアジサシ

Black-naped Tern

海岸崖地や岩礁などに渡来し、小さな集団を形成して繁殖する。小魚類を捕獲する。



カワウ

Great Cormorant

冬に池やため池、ダム湖などに渡来し、数も多い。潜水して小魚を捕獲する。



ササゴイ

Striated Heron

冬に河川や池などに渡来し、越冬する。背中の羽がササの葉のよう見える。



アカガシラサギ

Chinese Pond Heron

冬に湿地や田伊モ栽培地、水田に少數が渡来し、越冬する。冬羽では頭部、胸、背面が茶褐色。



アオサギ

Mallard

冬に池や沼地、河川などに渡来し、越冬する。雄は額から頭頂にかけてクリーム色。写真は雄。



ダイサギ

Great Egret

冬に河川や池、沼地などに渡来し、越冬する。全身が灰色。河川沿いで小魚類を捕獲する。写真は雄。



コサギ

Little Egret

冬に河川や池、田伊モ栽培地などに渡来し、越冬する。一部地域では留鳥。



クロツラヘラサギ

Black-faced Spoonbill

冬に池や沼地、河川、田伊モ栽培地などに渡来し、越冬する。雄雌ともくちは太くて長い。写真は雄。



ツルクイナ

Watercock

冬に池や沼地、河川などに渡来し、越冬する。雄の尾羽は灰色で長い。写真は手前が雄、奥が雌。



オオバン

Eurasian Coot

冬に水田や田伊モ栽培地などに少數が渡来し、越冬する。留鳥のパンに比べ大き、全身灰黒色。

冬鳥・旅鳥(冬にくる鳥・渡りの途中に訪れる鳥)



タケリ

Northern Lapwing

冬に水田や田伊モ栽培地などに少數が渡来し、越冬する。頭頂の長く伸びる冠羽が特徴的。

